式第２の２

記　載　例

揮発性有機化合物排出施設設置（~~使用、変更~~）届出書

該当する事項以外は
抹消する。

◇◇○○年○○月○○日

特定施設を設置するときは工事実施の６０日前までに届け出てください。

（あて先）宇都宮市長

届出者　氏名　株式会社○○○○
代表取締役社長　○○　○○　印
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
住所　○○県○○市○○町○○番地○○
社印及び代表者印
電話番号　○○○－○○○－○○

大気汚染防止法第 17 条の４第１項（~~第 17 条の 5 第 1 項、第 17 条の 6 第 1~~項）の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社○○○○　宇都宮工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	（〒○○○－○○○○） 宇都宮市○○町○－○	※受理年月日	年　月　日
揮発性有機化合物排出施設の種類	１．化学製品製造の用に供する乾燥施設	※施設番号	
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙１のとおり。	※審査結果	
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙２のとおり。	※備考	

備考　１　揮発性有機化合物排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第１の２に掲げる項番号及び名称を記載すること。
２　※印の欄には、記載しないこと。
３　変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
４　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格Ａ４とすること。
５　氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。
６　排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙２の届出は必要ない。

別紙１

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		Ｎｏ．１	工場事業場における施設番号
名称及び型式		○○製○○○－○○型	全自動・半自動・手動の別または型式
設置年月日		年　月　日	年　月　日
着手予定年月日		◇◇○○年　○○月　○○日	年　月　日
使用開始予定年月日		◇◇○○年　○○月　○○日	年　月　日
規模	送風機の送風能力（㎥／ｈ）	○○○　㎥／ｈ	該当する機械の最大能力
	排風機の排風能力（㎥／ｈ）		該当する機械の最大能力
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積（㎡）		該当する施設の面積
	容量（ｋｌ）		該当する施設の容量
１日の使用時間及び月使用日数等		○○時～　○○時 ○○時間/回　~~回/日~~　~~日/月~~	時～　時 時間/回　回/日　日/月
排出ガス量（Ｎ㎥／ｈ）		○，○○○Ｎ㎥／ｈ	
使用する主な揮発性有機化合物の種類		○○○○	
揮発性有機化合物濃度（容量比ｐｐｍ（炭素換算））		○○○　ｐｐｍＣ	
参考事項		著しい排出量の変動無し	

備考　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第１の２の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。

３　揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

４　排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。

５　揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。

６　揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。

７　揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。

８　参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採つている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

別紙２

揮発性有機化合物の処理の方法

<table>
<tr><td colspan="3">揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号</td><td>Ｎｏ．１</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号</td><td>Ｅｘ．１</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び形式</td><td>吸着濃縮，蓄熱触媒燃焼
○○製○○○－○</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">設　置　年　月　日</td><td>年　月　日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">着　手　予　定　年　月　日</td><td>◇◇○○年　○○月　○○日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="3">使　用　開　始　予　定　年　月　日</td><td>◇◇○○年　○○月　○○日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="4">処理能力</td><td colspan="2">排　出　ガ　ス　量　（Ｎ㎥／ｈ）</td><td>○，○○○Ｎ㎥／ｈ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">揮発性有機化合物濃度（容量比 ppm（炭素換算））</td><td>処理前</td><td>◇◇◇◇　ｐｐｍＣ</td><td></td></tr>
<tr><td>処理後</td><td>○○○　ｐｐｍＣ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">処　理　効　率（％）</td><td>○○　％</td><td></td></tr>
</table>

備考　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。

３　揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。

４　揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別添様式１（６－(3)定形的添付書類）

記載例

参　考　事　項

記載上の注意１　届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
２　届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者（連絡先）	氏　名　○　○　○　○		所　属　部課名　○　○　○　課	電話　○○○-○○○○ FAX　○○○-○○○○	
公害防止管理者	選　任　１要　(2)不要	選任要のとき	職・氏名	試験又は資格の区分	
公害防止責任者	職・氏名				
従業員数　○○○人	主要製品名	○○○○	日本標準産業分類の小分類番号・項目	○○○○	
特定施設メーカー名	○○○○会社		処理施設メーカー名		
特定施設が関係する製造工程の概要	材料 → 塗装 → 乾燥炉 → 検査 → 出荷				
新規立地工場・事業場事前協議	１　要 ２　不要	事前協議要のとき	協議終了年月日		
特定施設等を設置する土地	用　途 地　域	敷　地　（既存面積　　㎡） 面積等　（新規・増加面積　　㎡　登記地目　　）			
特定施設等を設置する建物	新築 （床面積　　㎡）	増改築 （床面積　　㎡）			
工場・事業場当初設置年月日	年　月　日	水質関係特定施設当初設置年月日	年　月　日		
めっき施設の設置等に係る事前協議	１　要 ２　不要	事前協議要のとき	対象物質　　協議終了年月日		
排水先（水質関係に係る届出書に添付のときにのみ記載）	複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排出水の排出先の用水路名（　　） ↓ 排出水の排出先の河川名　（　　）				
公害防止協定	締　結　(1)有　２　無	締結有のとき	今回の特定施設等の届出に関する事前協議　１　要　(2)不要	事前協議要のとき　１協議済　２協議予定	
周辺における公害苦情等の問題	現在解決していない苦情　１　有　(2)無	有のときはその区分	１　ばい煙　３　汚水　５　騒音　７　その他 ２　粉じん　４　悪臭　６　振動　（　　）		

その他、別紙として次の書類を添付する。

１　工場・事業場の平面図（建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排出水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。）

２　工場・事業場の案内図（工場・事業場に至る経路を記載すること。）

３　ばい煙に関する届出書等については煙突立面図（主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。）及び使用燃料の分析表

４　水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第１７条の規定を遵守していることを明示した図面等